

高齢者と地域学生による世代間交流

学生団体名 金沢医科大学看護学部ボランティアグループ

参加学生 坂本文音・吉田奈央・出雲由季乃・柏木ほなみ・川崎裕子・酒野詩織・西田梓

1. 地域活動の概要

内灘町地域公民館で高齢者を対象に実施されている「いきいきサロン」に学生が参加し、園児との交流会、おはぎ作り、クリスマス会などのイベントをとおして、世代間の交流を行った。園児との交流では高齢者から伝統的な遊びを学び、学生はそれを園児たちに伝えるという形で交流した。またおはぎ作りやクリスマス会では、高齢者から伝統的な食である「めった汁」をつくるコツなどを教わり、ケーキ作りでは学生が高齢者に作り方を伝え、料理作りをとおして様々な会話をし、地域高齢者との交流を深めた。

2. 地域活動の具体的な内容

1) 実施日時と参加者数

日時	参加者数		会場
	学生	高齢者	
9/14 (水) 9:00~12:00	7人	15人	向粟崎保育所
10/22 (土) 13:00~16:00	7人	18人	内灘町旭ヶ丘公民館
12/3 (土) 13:00~17:00	10人	22人	内灘町旭ヶ丘公民館
1/7 (土) 13:00~15:00	3人	18人	内灘町旭ヶ丘公民館

2) 活動内容

・9/14 (水) 高齢者と保育所の園児との交流会
 高齢者と保育所の園児との交流会に参加した。高齢者は日頃から練習している踊りを披露し、そのお返しに園児から歌が披露された。その後、高齢者・園児・学生が円をつくり、ボールを使ったレクリエーションを行った。さらに、お手玉、おはじき、けん玉、あやとりなど昔からある遊びを高齢者から教えてもらいながら、世代間交流を行った。



・10/22 (土) おはぎ作り



高齢者におはぎの作り方を教わりながら一緒におはぎを作り交流をはかった。
その後は高齢者と共に完成したおはぎをたべながら楽しい会話をした。

・12/3 (土) クリスマス会



高齢者と共にさまざまな具材の切り方や料理のコツを教わりながらめった汁を作った。
その後、学生が中心となり、高齢者と様々なデコレーションを加えたクリスマスケーキを作った。出来上がっためった汁、クリスマスケーキを皆で会話をしながら美味しく食べた。
食事の後は、高齢者と学生でチームを作り、新聞紙で作ったフラフープを使い、フラフープを全員に通すゲームをしながら楽しく時間を過ごした。



・1/7 (土) 反省会

今回のプロジェクトに参加した高齢者と学生、また企画に協力いただいた内灘町の職員の方を交えて、今まで行った行事の振り返りを行った。
一人ひとりから感想や今後の希望などを話してもらい、これまで行ってきた世代間交流や今後の課題などについて話し合った。

3. 地域活動の評価

今回地域活動に参加し、交流の中で普段関わることが少ない高齢者との交流をすることができた。高齢者からは「毎回、学生との交流を楽しみにしていた」「若者のパワーをもらった」などの発言も聞かれ、学生も交流の中で「高齢者から元気ももらった」「高齢者に対するコミュニケーション能力が向上した」などの積極的な意見があった。さらに、おはぎ作りやめった汁など高齢者との料理作りを通して、昔ながらのいろいろな知恵を学ぶこともできた。この活動を通じ、学生と高齢者双方での深いつながりができた。

4. 今後、この地域活動を継続、活発にしていくために必要なもの、及び課題

今回の活動を振り返り、高齢者の意見や交流時の表情から地域交流や世代間交流が重要であると感じたが、現実にはこのような機会は極めて少ないのではないかと考える。今回の活動のような高齢者と学生との交流を多くの地域に広めていく事が必要だと考える。

5. その他（学生や地域の方の感想等）

（学生）

- ・今回の活動を通して、学生が地域活動に参加しようという気持ちになったし、参加するきっかけにもなった。
- ・普段祖父母とは一緒に住んでいないため、高齢者と関わることができてよかった。
- ・高齢者から昔ながらの知恵ももらった。
- ・普段関わらないような世代の人と話して知り合いになれて嬉しかった。
- ・めった汁やおはぎなど普段作らないものを手作りできてよかった。
- ・最初はお互いにごくどう接していいのかわからなかったが、回数を重ねるにつれて親しい関係になることができた。

（高齢者）

- ・学生が来るって言ったら皆予定をずらしてでも集まるぐらいこの活動を楽しみにしていた。
- ・今後もこのような機会を増やしてほしい。
- ・若いパワーをもらった。
- ・今までの交流を通して、学生は優しかった。



ケーキづくりに熱中する学生とお年寄り＝内灘町旭ヶ丘で

世代超えケーキ作り

内灘 医科大生とお年寄り

金沢医科大学看護学部「女性グループ「あじさのボランティアグループ」の会」のお年寄りが
ブと、内灘町旭ヶ丘の三日、同町旭ヶ丘公民

館で、一緒にクリスマスケーキを作った。
坂本文音さん(三年)ら女子学生九人が参加。お年寄り十五人にケーキ作りを伝授し、一緒に生クリームをこねた後、スポンジケーキにイチゴを並べた。お年寄りたちはおはぎとヨモギもちを準備して学生をもてなし、村本幸子さん(モ)は「みんな孫のようで楽しい。一緒にいると若いパワーがもらえます」と笑顔で話した。大学間や地域との連携を図る大学コンソーシアム石川の事業の一環で、交流は三回目。九月に園児を交えた三代交流、十月にはおはぎ作りを同会のお年寄りから教わっている。(山森保)

金沢医科大学看護学部の学生と内灘町旭ヶ丘の高齢女性の世代間交流会は3日、旭ヶ丘公民館で開かれ、女子学生と高齢女性がクリスマス会で交流を深めた。同町は参加者の意見を聞き、お年寄りと学生の世代間関係など「脱無縁社会」の仕組みに役立てる。

交流会は9月から大学コンソーシアム石川の今年度

脱無縁社会へ

お年寄りと学生交流



地域貢献型学生プロジェクト推進事業として開かれ、今回が三回目。同大看護学部の中野裕子教授とボランティアグループ「ハート・オブ・フラテ」内灘・旭ヶ丘でクリスマス会

イスの2〜4年生9人、80歳以上の女性サークル「旭ヶ丘めいどの会」

ケーキ作りを通して交流する高齢女性と女子学生
＝内灘町旭ヶ丘公民館

町が参加者の意見役立て

の会員15人が餅つきやめった代、ケーキ作りを楽しめ、一緒に味わった。代表の坂本文音さん(21)は「お年寄りの知識を教わるのができて有り難い」と話し、会長の村本幸子さん(77)は「離れて暮らす様というよう

で楽しい」と喜んだ。内灘町は今年度から町民の協力を得る世代間交流事業など人間中心の新たな価値を創造する「プラチナ構想」に取り組んでいる。